

チャレンジ！！オープンガバナンス 2020 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No. -（事務局用）	タイトル ずっと室蘭で活躍し、応援してほしい！市外で活躍されている方も、いつか室蘭で活躍してほしい！	自治体名 室蘭市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	いつでもどこでも集合写真 MuroView		

（注1）地域課題タイトルは、COG2020 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	MuroView		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	3名		
代表者（公開）	小島祐輝		
メンバー（公開）	Yuanhui Liu 須藤 秀紹		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2020_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2020 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2020@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	○
---------------------------------	---

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、これこれの課題解決のために、何をやる社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

COVID-19の影響により、人が集まって遊ぶことやイベントを行うことが難しい状況にある。それに対して、写真の合成技術を用いることで、疑似的に他の人と共に写真を撮るアプリケーションを提案する。

<この課題解決のためのアイデアが具体的に実行される場面を想定してください。そこで・・・>

<「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

現状の観光地で使われている顔出し看板やフレームは撮影する場所が指示されている分、印象的な写真を残せるメリットがある。対して、人数が限定されている点や場所が固定されている点がデメリットとなる。

私たちが提案するアプリケーションの目的としては、アイデアのある人はイメージした状況での写真を、参加した人は印象的な写真を残せるようにするというものである。具体的な流れは以下の通りである。

- ①撮影場所と撮影イメージの共有をすることで、被写体+企画立案者として参加者を募る
- ②その場を訪れた印象的な写真を撮りたい人が①の企画に被写体として参加する（写真を撮影する）
- ③撮影した写真を合成し、一つの写真とする
- ④完成した写真を閲覧し SNS で共有する

【①撮影イメージの共有, アイデアの立案】

撮影イメージは写真と位置情報およびテキストで共有される

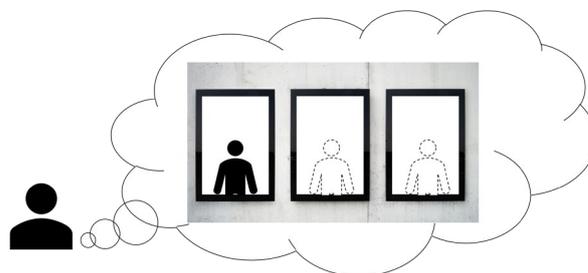
- 写真には人が入ってほしいポイントを指定する
- 位置情報は撮影した位置を参照する
- テキストは、写真の指定したポイントに笑顔の人が欲しいというような形をとる

撮影イメージはアプリ内で参照可能にする

【②共有されたアイデアに参加する】

アプリ内で地図を用いて指定した場所、もしくは現在の位置情報を使ってアプリ内でアイデアを検索する

- 参加者は、共有された写真とテキストからイメージを得る
- 参加する場合は自分の写真を撮影し、サーバーにアップロードする
- 参加した場合、完成品の閲覧と保存、シェアを④で行うことができる



アイデアはあるけど
人が足りない状況

【③撮影した写真の合成】※イメージ図

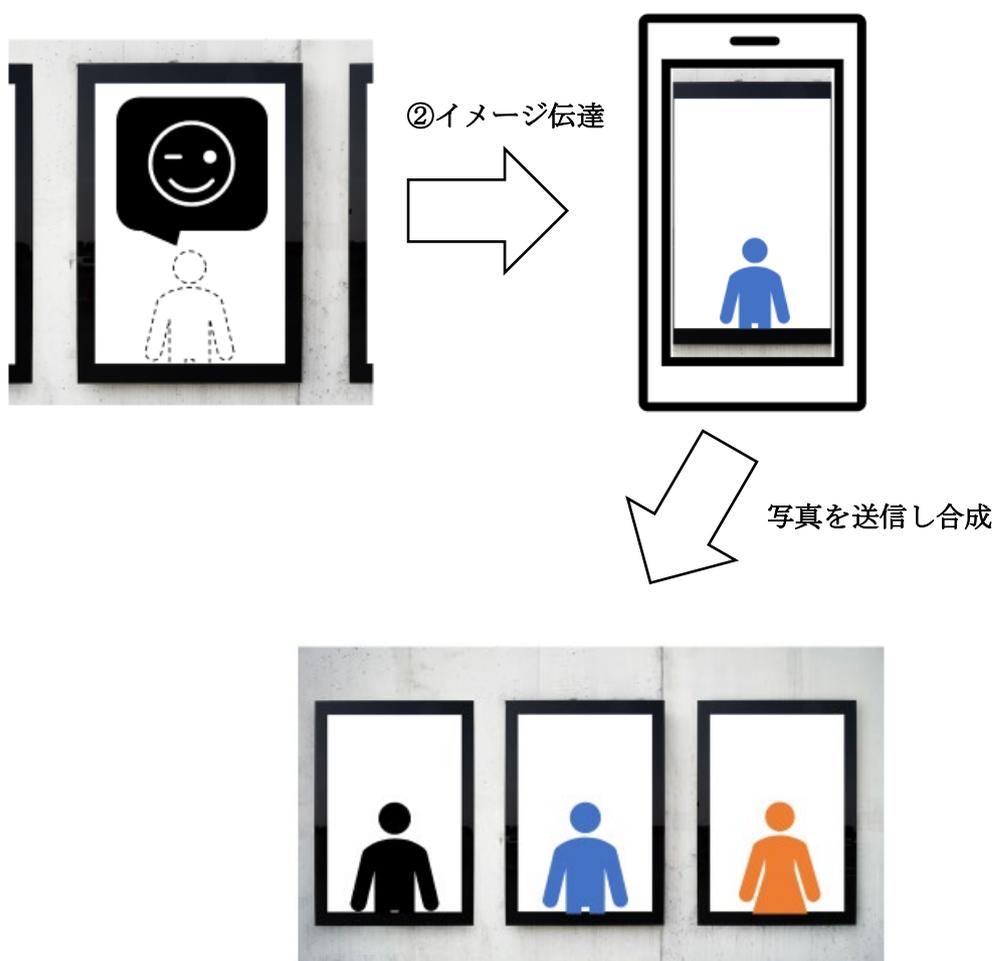
アイデア提案者は自動で合成された写真の微調整を行う

- 参加者の画像合成について、色味や光の当たり方に違和感がないか確認
- ツールを用いて微調整を行う

【④完成した写真の閲覧・共有】※イメージ図

完成した写真はアイデア提案者と参加者にアプリ内で共有される

- 写真は閲覧と保存が可能
- SNS へのシェアも可能



2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

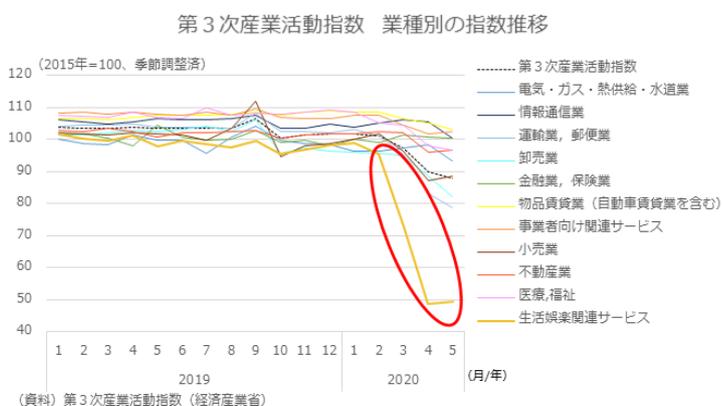
このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」これをやりたいのかの思いを上記のデータを示しつつ書いていきます>

1. COVID-19 の影響

現在、COVID-19 の影響により、生活娯楽関連の業種の活発さが大きく低下している[1]。季節調整済み指数の低下幅を見ると、旅行やバスケットボール・バレーボールなどのプロスポーツ、テーマパークといった人が集まるものが特に影響が大きいことが分かる。



1月から5月の最大低下幅(季調整ポイント差)

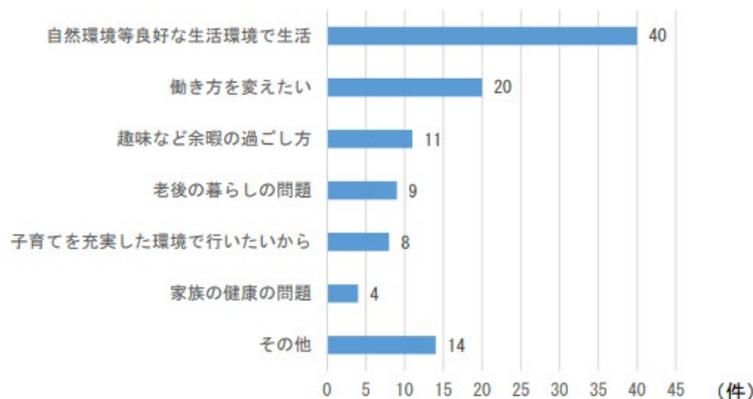
順位	業種	ウェイト	ポイント差
1	バレーボール, バスケットボール	0.6	256.2
2	相撲	0.6	255.8
3	外人旅行	16.9	186.8
4	フィットネスクラブ	16.9	103.7
5	ホテル	64.9	103.4
6	遊園地・テーマパーク	24.5	103.0
7	映画館	2.4	102.8
8	リネンサプライ業	27.4	92.4
9	結婚式場業	19.0	92.4
10	国内旅行	28.2	87.3

(資料) 第3次産業活動指数 (経済産業省)

2. 北海道への移住者

道移住者へのアンケート調査[2]によると、自然環境等良好な生活環境で生活したいと回答した人が多かった。生活ガイド.com[3]をみると、自然景観に関しては映画のロケ地・舞台となるなど、自然環境という面では移住先の候補となると考えられる。また、室蘭市移住情報[4]には、住みよさランキング 2020 で室蘭市が2年連続道内1位とある。

このように、室蘭市は移住先候補として魅力があることが分かる。しかし、我々はその事実をあまり知られていないのではないかと考えた。



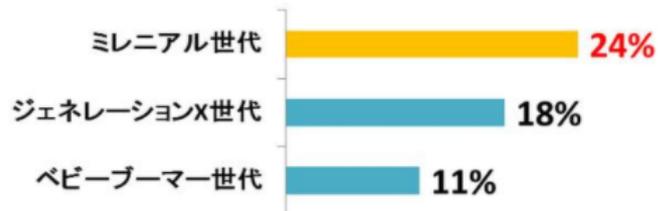
3. SNS への写真投稿

旅行に関するオンライン予約を扱うエキスペディア・ジャパンの調査[5]によると、1982年～1999年に生まれた世代は、旅行先を決めるとき、24%の人がSNSに投稿された写真に影響されるという。

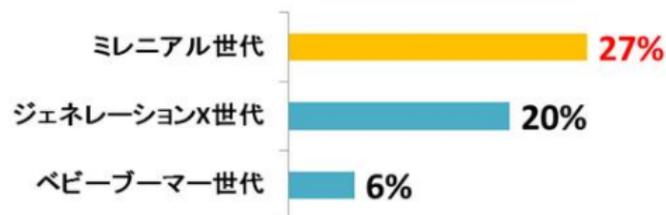
また、旅行中に旅行の写真SNSに投稿したことがある人の割合は27%になる。

これらの情報から、SNSに投稿するきっかけを作ることで、室蘭市に興味をもってもらえることができると考えた。

旅行先を決めるとき「友だちがSNSに投稿している写真に影響される」人の割合



旅行中に「旅行の写真をSNSに投稿したことがある」人の割合



[1] 経済産業省, 新型コロナウイルスの影響を最も受けた「生活娯楽関連サービス」とは,
https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20200728hitokoto.html

[2] 北海道ホームページ, 本道への移住者に対するアンケート調査結果,
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/csr/H28izyuusyaanke-to.pdf>

[3] 生活ガイド.com, <https://www.seikatsu-guide.com/info/1/1205/2/>

[4] 室蘭市移住情報, <https://relocation-guide-muroran.hub.arcgis.com/>

[5] PR TIMES, ミレニアル世代の旅行比較調査～国内・年代別編～,
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000136.000003373.html>

2. アイデアの説明（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきま>

● 必要な資源

	要件	人	期間
全体設計	UI 管理方法 共有・合成機能	5	3 か月
開発	UI アイデア共有 写真の合成 シェア機能	10	3 か月
運営	宣伝 システム運用	10	サービス 2 か月前から

● 開発のスケジュール

	Task Name	Duration	2021 Apr.	2021 May.	2021 Jun.
	Complete project execution	90days			
1	Planning	10days			
1.1	Contact with photography companies	10days			
1.2	Deliver task to members	1day			
1.3	Planning complete	10days			
2	Design of APP	15days			
2.1	UML design	5days			
2.2	User interface design	5days			
2.3	Database design	5days			
3	Software Development	60days			
3.1	Implement APP	60days			
3.2	Software development complete	60days			
4	Testing	5days			
4.1	APP testing	5days			
4.2	Testing complete	5days			

● 実現の主体

- 全体設計、アプリ開発->メンバー+企業
- 運営->メンバー+市役所
- サービス利用、フィードバック->一般市民

● 実現の流れ

(1)全体設計

- UI 設計など、基本的な設計をまず行う

(2)資金確保

- 設計、開発および運用に当たって、外注などの費用が発生する。よって 300 万円程度を目標にクラウドファンディングでの捻出を行う
- 運用開始後は広告により運用の費用を捻出する

(3)開発

- 開発はスケジュールに従い行う、一部機能は外注する

(4)運用

- アプリ開発後は市役所と協力して運用を行う